

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立桜台小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】 言語についての知識・理解・技能では、学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む問題で正答率が高く、相当数の児童が理解している。</p> <p>【算数】 繰り下がりのある減法の計算や二つの数の大小関係を表す不等号を書く問題では正答率が高く、相当数の児童が理解している。</p>	<p>【国語】 漢字やローマ字を正しく書くことや、目的や意図に応じて書く事柄を整理することに課題がある。</p> <p>【算数】 1を超える割合を百分率で表す場面での、基準量と比較量の関係を問う問題では、正答率が低い。 また、三角形の面積の求積や図形の構成要素に着目して図形を構成することにも課題がある。</p>
B問題	<p>【国語】 話の展開に沿って質問を考えたり、目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書いたりする記述問題や、読解力を問う問題でも正答率が高い。</p> <p>【算数】 長方形から切り取ることができる正方形の数について、その理由を記述する問題は、正答率が高い。</p>	<p>【国語】 目的に応じて質問したいことを整理したり、質問の意図を捉えたりすることに課題がある。</p> <p>【算数】 単位量当たりの大きさを求めるために必要な情報を判断したり、角の大きさを基に式の意味や図形の構成を考えたりすることに課題がある。</p>
質問紙	<p>学校で友だちに会うことを楽しいと思っている児童の割合が高い。</p> <p>「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいませんか?」に対し、「当てはまる」と答えた割合が高い。</p>	<p>就寝時刻や、ゲームやネット等に費やす時間では、規則的な生活習慣が定着していない児童が、やや多い傾向がある。</p> <p>学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあると感じている児童の割合が少ない傾向がある。</p> <p>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童の割合が、やや低い傾向がある。</p>

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】 ・基礎的な力を養うために、漢字練習や言葉の意味調べなどについては、授業の中で学習するだけでなく、家庭学習をする機会を増やし、語彙力が付くようにしていく。 ・聞く力を伸ばすよう、しっかりと話や意見を受けとめる授業づくりをしていく。</p> <p>【算数】 ・面積や単位量あたりなどで、数量関係をしっかりと捉えさせるために、板書の工夫やICT機器の活用等により、視覚的に捉えやすい、わかりやすい授業づくりをしていく。</p> <p>【共通】 ・授業毎に、本時のめあてや、振り返りをノートに書かせたり全体で共有したりすることで学習内容の定着を図っていく。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>今回の調査では、ご家庭や地域の方々子どもたちの健やかな成長を支えてくださっていることが分かりました。</p> <p>○スマホやゲーム、テレビとの付き合い方について、ご家庭でお子さんとのルールを決めて、確認し合いながら楽しめるようになってほしいと願っています。</p> <p>○毎日決まった時間に寝る、起きるなど、規則正しく生活できるよう、見守っていただきたいです。</p> <p>○漢字の書き取りやローマ字など、家庭学習に積極的に取り組めるよう指導していきます。</p> <p>今後も子どもたちの健やかな育ちのために、家庭と学校が連携して、生活習慣を見直していくよう、お願いします。</p>
--